

在校生が目指す主な資格等

- 海技士(航海)(機関)、小型船舶操縦士、潜水士、総合無線通信士、陸上無線技術士、海上無線通信士、陸上特殊無線技術士、海上特殊無線技術士、工事担任者、ボイラー技士、冷凍機械責任者、危険物取扱者、電気工事士 ほか
- 水産海洋技術検定、海洋情報技術検定、通信技術検定、栽培漁業技術検定、食品技能検定、HACCP基本技能検定、潜水技術検定、漁業技術検定、エンジン技術検定

※上記資格などをポイント換算するマリンマイスター顕彰制度を設けています。(全国水産高等学校長協会)

VOICE OB・OGの声を聞こう



在学中に目標が見つかり、その目標を達成するために先生方が時間を惜しまずサポートしてくれました。その結果、目標である資格取得を達成でき、大手企業に就職することができました。(海運会社)



同じ目的をもった仲間が集まっているので、仲良く楽しい学校生活を送ることができました。課題研究や実習の授業を通して、チームワークの大切さや人と関わる楽しさを学びました。今の仕事でも生かしていると思います。(水産物卸売業者)



高校時代の留学体験を通じて、水産業は国際的な産業であることを知り、さらに学びたいと思い、大学に進学しました。将来は輸出入業務を行う水産会社に就職し、国内外で活躍したいと考えています。(水産系大学生)

VOICE 就職先の企業の声を聞こう



水産高校出身者は、魚をとることの楽しさを知っており、漁船における総合的な知識と技術を習得しているので、漁船漁業における生産技術の現場でリーダーとなり、業務改善に積極的に取り組んでいます。(漁業会社)



水産高校出身者は、水産の実習や現場での実践的な就業実習などを経験し、船の世界を感じることで、早い段階から自分の進路を考え実行している方が多いと思います。(海運会社)



水産高校出身者は、水産に関する興味・関心がとても高く、各種資格の取得について積極的に取り組んでいるので、業務に必要な資格を有し、職場で活躍してくれています。(水産物卸売業者)

VIDEO 水産高校の魅力を動画でも発信!

実際の授業風景を中心に、水産高校の魅力をまとめた動画を、文部科学省のホームページで閲覧できます。



URL http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/main19_a2.htm

DOWNLOAD 本リーフレットは、文部科学省のホームページでも公開されています!

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/main19_a2.htm

RESEARCH 身近な水産高校を調べてみよう!

都道府県名 水産高校

全国水産高等学校長協会

*本リーフレットは、北海道小樽水産高等学校、新潟県立海洋高等学校、静岡県立焼津水産高等学校、福岡県立水産高等学校、福島県立いわき海星高等学校に協力いただき作成。



文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 産業教育振興室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL. 03-5253-4111 (代表)

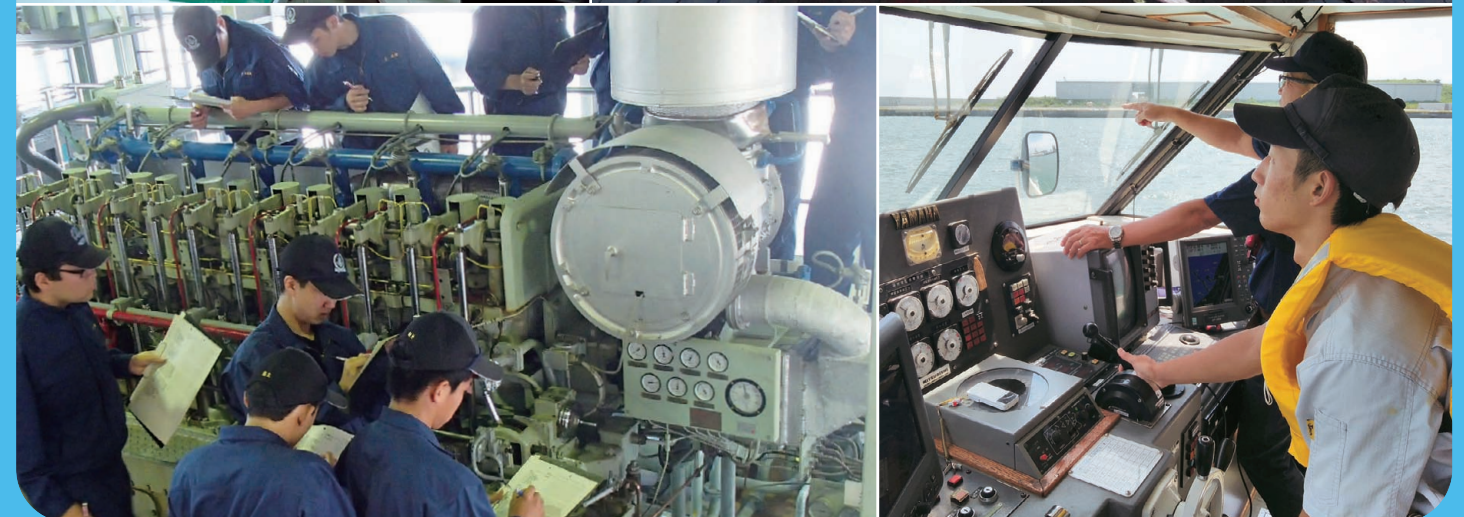
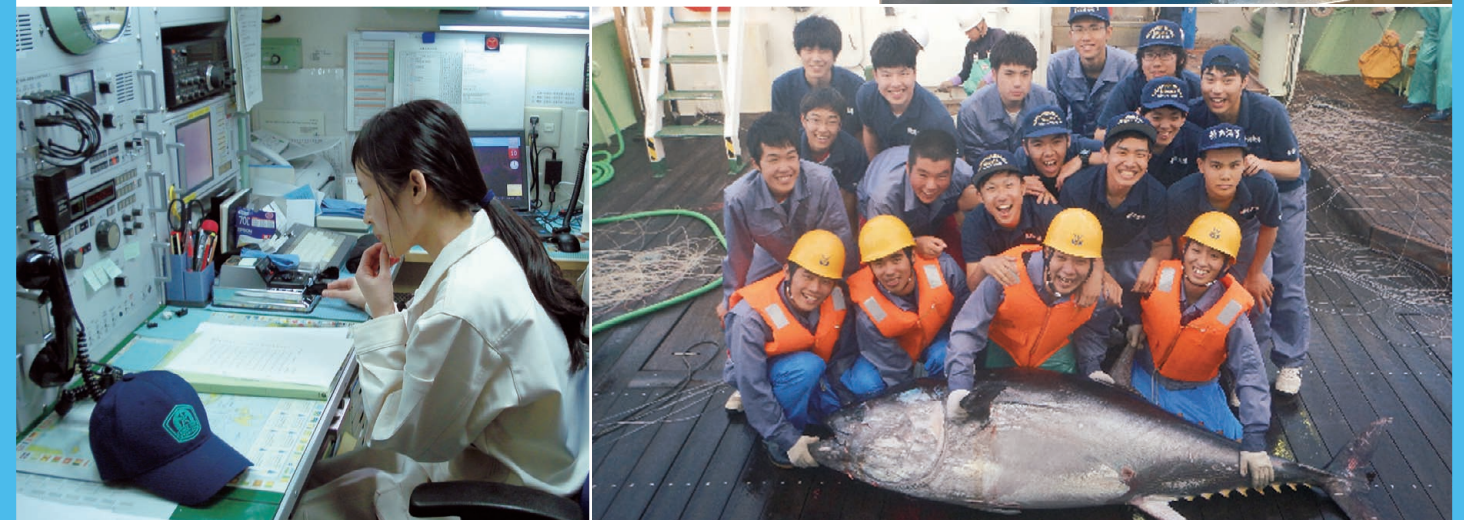
URL http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/main19_a2.htm

※文部科学省の平成29年度「農林水産高校等の魅力発信に関する調査研究」による委託業務として、日本教育新聞社が編集制作。

海に学ぶ 水産高校

水産高校の魅力を知ろう

海に囲まれた日本。水産高校では、海、船、海の生き物について、基礎的な知識や技術、その活用などを学ぶことができます。海について学びたい、船に乗りたい、海の生き物に詳しくなりたい——
同じ思いの仲間と、一緒に学びませんか。



水産高校の「学校生活」を知ろう!

水産高校ならではの授業や実験、実習など、魅力溢れた取組が行われています。



水産高校3年間のカリキュラム

A校のカリキュラムの例

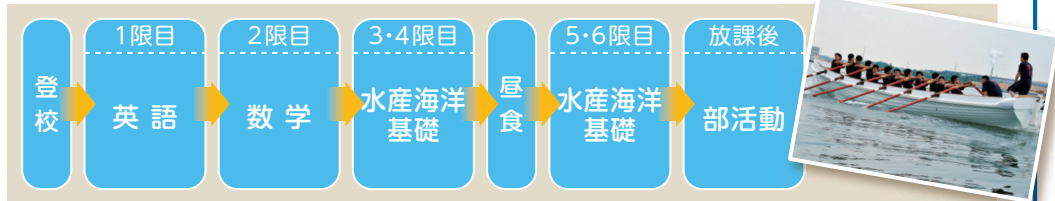
国語や数学などの教科の他に、必要な知識や技術を習得するための専門科目が数多く設定されています。(以下の表の□の部分)

単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語		地理		数学		理科		体育	保健	芸術		外国語								基礎	水産海洋	技術	海洋情報			専門科目	他の		
2年	国語		世界史		数学	理科	体育	保健	外国語		家庭																			
3年	国語		現代社会		数学	理科	体育	外国語																						

※「情報」及び「総合的な学習の時間」については、専門科目で代替。

A校の1年生のある1日

2年生、3年生になると、専門科目の割合が高くなります。



【特色ある学習分野】

分野① 海洋漁業関係の学習

海技士(航海)の資格取得を目指し、将来は漁船をはじめ、様々な船舶の職員として活躍できます。学校等の所有する実習船での航海実習では、船舶の運航に必要な知識や技術を学んだり、マグロやカツオなどを漁獲する漁業実習を行います。また、ハワイや台湾など海外へ寄港し、現地の学校との国際交流も行います。



分野② 海洋工学関係の学習

海技士(機関)の資格取得を目指し、実習船による航海実習では船舶を運航するために必要なエンジンや発電機、電子機械等について学び、国際交流も行います。また、実習では機械の整備点検や設計工作などを行い、将来は船舶職員の他、エンジニアとしても幅広く活躍できます。



分野③ 情報通信関係の学習

通信士の資格取得を目指し、陸と船とをつなぐ無線通信や有線通信、電子機器、電気工事等について学びます。通信実習に加え、コンピュータ制御や水中ロボットの組み立てなど実践的な実習も行います。将来は船舶職員の他、港湾や管制等、通信の専門家としても幅広く活躍できます。



分野④ 資源増殖関係の学習

増養殖実習や海洋環境の学習を行い、資源の適切な管理手法を学びます。実習では採卵から種苗育成、出荷までを行い、水産生物の飼育技術を体験的に身に付けることができます。将来は養殖業をはじめ、水産試験所や水族館の職員等、水産資源増殖の専門家として活躍できます。



分野⑤ 水産食品関係の学習

食品の製造や管理手法について、水産物を中心に学びます。HACCP認定の実習場等、国際基準に対応した高度な施設で、実践的な実習を行います。また、新製品の開発やプロモーション及び販売活動を通じた地域産業の活性化にも貢献しています。将来は水産食品の製造や管理流通のプロフェッショナルとして、様々な分野で活躍できます。



分野⑥ マリンスポーツに関する学習

潜水士や小型船舶操縦士等、マリンスポーツに関連する資格取得を目指します。実習ではダイビング技術を身に付け、海洋環境や海洋生物の保全活動も行います。「海」そのものを深く探究した学習を行うため、卒業後は進学する生徒も多く、将来はスクーバダイビングのインストラクターや海洋工事を担う潜水士として活躍できます。



研究発表

未利用資源を活用した新製品の開発や、絶滅危惧種の完全養殖など、全国の水産高校が取り組んでいる研究は、その貢献が高く評価されています。大学や研究機関との共同研究が国際機関で認められるなど、専門分野の学びが飛躍的な成果となり、世界の舞台上で発表している先輩もいます。



部活動

ダイビング部やヨット部など、水産高校でしかできない、海が好きな人にぴったりの部活動がたくさんあります。

